

超音波治療器の効果

- ① 眼の網膜、眼筋等をマイクロマッサージ
- ② 毛様体筋等の異常緊張・麻痺・痙攣を緩解
- ③ 視神経の異常を緩解
- ④ 毛細血管を拡張し、血流量を増大

近視・老眼を改善

白内障のかすみを改善

認知症等を予防

緑内障の高眼圧を改善

眼精疲労やドライアイを改善

世の中に多く普及している水素サプリメントはサンゴを原料としています。エゴマ由来水素の優位性、特長について教えてください。

いま水素サプリメント市場の主流であるサンゴ由来水素サプリメントと比べて、シソ科のえごま油で作られた水素サプリメントは、水素の発生量と発生時間を長く持続させる工夫がされています。水素発生原理については、水分と反応することで植物オイル内の水素が切り離されると同時に、吸着さ

白内障の予防については、超音波マッサージと水素の併用が望ましいですね。

白内障は手術でしか治らないと言われていますが、副作用や合併症の可能性もゼロではありませんから、今まで副作用や後遺症等の報告は一例もなく、十分な安全性が実証されている「フタワニック」による超音波マッサージで目の周りの血行を良くして目を

最後に伝えたいポイントを申し上げます。

水素を日常生活に取り入れた方から「以前よりも元気になった」、「運動しても疲れにくい」といった声をよく聞きます。私自身もこれまでのデータや症例の蓄積からみて、病気の改善や予防において水素に替わるものはないと評価していますし、副作用がない水素療法に大きな期待を寄せています。加齢はだれも避けられないですが、老化は避けることのできる「病氣」であり、老化を抑えられれば健康な身体を手にすることが出来ます。身体の老化に関わる根本にアプローチする水素。人生100年時代、多くの方々が年をとっても老化を最小限に留めて若々しく健康に暮らせるよう、医療現場を含めたより幅広い領域で水素を活用していただければ幸いです。

水素パワーで眼病予防

えごま由来水素が持つ抗酸化力の可能性！

スマートフォンやPC画面からの光の刺激に日々晒されているおよそ先進国に暮らす人々は、慢性的な眼精疲労やドライアイ、視力低下等の眼病に悩まされている。この状況が続けば2050年には世界人口の半数が近視になると推計されている。加えて、加齢に伴い発症しがちな白内障の手術数は国内だけでも年間160万人以上。80代になるとほぼ全員が白内障になるとも言われている。そんな白内障の一般的な治療法と言えば「手術（眼内レンズ置替）」だが、合併症や特定疾患が原因で手術ができないケースもある。そこで白内障を含めあらゆる病気の元凶とされている「悪玉活性酸素」を除去できれば良い。そんな悪玉活性酸素を無毒化する抗酸化力を有するものとして注目されているのが「水素」。今回は、この水素パワーの可能性に以前より着目し、水素療法を実践している森吉臣・東京予防医療クリニック院長に、人生100年時代の健康長寿を叶えるための必須アイテムとしての水素の可能性について伺った。



森吉臣 東京予防医療クリニック院長

先生が水素に着目され、水素療法をご自身のクリニックに導入された理由について教えてください。

水素 (Hydrogen) とは、原子番号1、元素記号「H」の地球上で最も軽く最小の物質です。この水素がなぜ医療分野で注目されているかというと、水素には体内で発生する活性酸素を除去する抗酸化力があるからです。

そもそも病気に繋がる活性酸素は、呼吸で吸い込んだ酸素の一部が変化して発生しますが、紫外線やストレス、暴飲暴食などが含まれることで活性酸素は体内で爆発的に増加します。しかし全ての活性酸素が悪者というわけではなく、ウイルスや細菌を攻撃するスーパーオキシドと過酸化水素は、いわゆる「善玉活性酸素」。一方、細胞や遺伝子にダメージを与えるのが一重項酸素やヒドロキシラジカル。いわば「悪玉活性酸素」です。従って、細胞などに対するダメージを防ぐには、この悪玉活性酸素だけを封じ込める必要があります。

水素は多くの疾患にその有効性が確認されているそうですね。

やみに活性酸素を除去すれば良いというわけではありません。そこで水素の抗酸化力ですが、私が行った実験では、水素はこの善玉活性酸素を維持したまま、ヒドロキシラジカルを選択的に消去することが分かっています。人間が水素を一週間摂取すると、血液中の抗酸化力が向上し、活性酸素の量が軽減するというデータも得られています。こうした水素の働きは、副次的に、細胞内にあつてサチユイン遺伝子（長寿遺伝子）を呼び覚ますNADを活性化させ、エネルギーを作るミトコンドリアの働きを高めることで、代謝アップも図れます。

各国の研究でも、水素は20種類以上の疾患に対してその有効性が



水素プラチナゴールド NMN 60粒入